

道写協 札幌支部だより

北海道写真協会札幌支部
札幌市中央区大通西3丁目6
道新文化事業社内
011-241-5161

<http://www.doshakyo.org/sapporo>

札幌支部写真展

2021年3月18日(木)～3月23日(火)
道新ぎやらりー



道写協や当支部のPRとともに新会員募集にもつながる支部写真展は、コロナ禍で開催も危ぶまれましたが、皆様の熱意とご協力により開催できました。

6日間の期間中は、マスクの着用、入館者の記録、検温、筆記具の消毒など感染対策を徹底し、トラブルも無く予定通り無事終了しました。

入場者数は約500人を数え、中にはこの機会に札幌支部へ入会頂いた方もおります。

道新ぎやらりーの場所が1階から7階に移動したことから、ポスターなど広報活動にも力を入れましたが、「ポスターの写真を観に来ました」という新聞記事の反響もありました。

(支部写真展当番記録から)



第68回 写真道展

【第二部(観光・産業)】一席 国土交通大臣賞 「匠」

6回目の道展参加、初めての入賞がそれもまさかの2部1席。驚きを通り越してア然とした状態で通知を見ていました。

そしてカメラをやって良かったとしみじみ思いました。これも今まで出会った方に親切におしえて頂いたお陰と、支部例会で皆様の素晴らしい作品を見せて頂いたことがこの結果に繋がったと思っています。

この受賞を機に初心を大切にして、感動した気持ちを素直に表現するとともに大好きなシャッター音を聞いていきたいと思っています。

掛村一憲さん



【第二部（観光・産業）】 二席 ニトリ賞 「龍安寺の石庭？」

【第三部（ネイチャーフォト）】 三席 「雅の舞」

「出会いと粘りと回数」



第二部 二席 「龍安寺の石庭？」



中野会長に「出会いと粘りと回数」を教わり、第二部二席の「龍安寺の石庭？」では自宅横ロードヒーティングの「パイプ敷設工事」に出会い「衝撃」を受け夢中で撮りました。

見野則幸さん 第三部三席の「雅の舞」は、例会で澤田先生の「サギ」の特集に感動し撮影地に十三回足を運び、粘って「サギの華麗な舞」に出会いました。これらの成果は、先生等との「出会い」や「素直に聞く耳」「向上心」「諦めない粘り」の「堅持と実践」かと、全てに感謝しています。

(3部門の入賞・入選)



第三部 三席 「雅の舞」



第三部 二席 「晩秋の煌」

【第三部（ネイチャーフォト）】 二席
北海道写真協会賞 「晩秋の煌」

【第一部（自由）】 三席 「ごきげん」



浦崎毅子さん

「ありがとう」

二席と三席に入賞し、とても嬉しかったです。

初めての二席の写真は小雨の中、森林公園で枝についた水滴がキラキラしている中に、一枚だけ残っていたモミジの赤い葉に晩秋を感じて撮りました。

三席の写真は、樹芸センターで出会ったご機嫌な笑顔の坊やを私も笑顔で撮らせてもらいました。

どちらも偶然の出会いがあったから撮ることができた写真で、ありがたい気持ちが大きいです。



第一部 三席 「ごきげん」

【第三部（ネイチャーフォト）】二席 道新文化事業社賞 「山の目覚め」



梅澤勇二さん

当該写真は、昨年5月に旭岳の麓へ、水中の水芭蕉を撮りに出掛けましたが、時期尚早でした。しかし、エゾノリュウキンカが満開でそれを撮影していると、太陽が急に日暈になり、幸運な写真を撮ることが出来ました。

これからも受賞を機に精進していきたいと思っております。

(3部門での入賞・入選)

【第二部（観光・産業）】三席 「祈り」

【第三部（ネイチャーフォト）】三席 「夕映えの導き」

今年は2作品入賞を頂き大変嬉しくもあり驚いています。

第二部三席の作品は2年前にタイの観光客が大仏の目を見つめながら手を合わせて何かを唱えているようにも見え、祈りがとても印象的でしたので、広大な大仏殿を超広角レンズで何とか表現できたかなと思った作品です。



安田敏彦さん



第二部 三席「祈り」

第三部三席は私が好きな石狩川河口です。

この日は太陽が木杭の中心に来る時期を選び波が高かったので白波を長秒でソフトに表現しました。

今はコロナ禍でストリートスナップなど難しい年ですがその時々の一期一会を大切にしたいと思います。

(3部門での入賞・入選)



第三部 三席「夕映えの導き」

三部門で入選の喜びの声



片岡真弓さん

楽しく撮ってきたことによってすてきな知らせが届き、とても嬉しく思っております。いろんな人に教えてもらったことに、感謝を忘れずにこれからも楽しく続けていきたいと思っております。

<写真道展 入選者・入選作品名> 入賞5名8作品 入選10名15作品 (4)
3部門入賞・入選 4名

敬称略

第一部 (自由) 6名

片岡真弓「光の流れ」
藤田昌宏「参拝を待つ」
安田敏彦「彼から」
渡辺 勝「釣り人」
梅澤勇二「皆でバタフライ」
見野則幸「竿さばき」

第二部 (観光・産業) 4名

片岡真弓「眠らない工場」
林 繁造「ベテラン」
渡辺 勝「昆布漁」
梅澤勇二「昆布干しの老人」

第三部 (ネイチャーフォト) 5名

掛村一憲「巨木の目覚め」
片岡真弓「夕日のかたらい」
米澤三千代「影の背くらべ」
林 繁造「宇宙からの使者」
飯高光紀「穏やかな始まり」

令和2年度 月例会

1位 梅澤勇二 2位 林 繁造
3位 安田敏彦 4位 見野則幸
4位 浦崎毅子 (同点数4位)
新人賞 片岡真弓

< 3月 野勢 英樹 道新写真部次長 >



1位 安田敏彦
「陽射しに導かれ」



2位 林 繁造
「警戒」

今までこういう光景は見たことが無かった

警戒の2頭の牡鹿にしっかりピント、
雪の中のエゾシカも良い

< 4月 > 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

< 5月 > 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

< 6月 長谷川 純一 特別講師 >



1位 安田敏彦
「落陽の道しるべ」



2位 梅澤勇二
「躍動」

夕日を中央に入れたのが良かった

ダイナミックにお祭の感じが出ている

< 7月 中野潤子 特別会員 >



1位 脇田健司
「淡雪」

花びらを雪にたとえ、モノクロでひきしめている



2位 梅澤勇二
「皆でバタフライ」

気持ちよく泳いでいる感じが出ている

< 8月 河江 利幸 特別会員 >



1位 梅澤勇二
「黒の滑り台」

流れが出ていて、面白いアングル



2位 今 明美
「影遊び」

実像の女性の足の部分と下の方をカットして影をもっと大きく見せた方がよくなる

< 9月 武藤省吾 特別会員 >



1位 見野則幸
「龍安寺の石庭？」

パターン化され色調も単純で龍安寺の石庭を思わせる



2位 掛村一憲
「ママ大好き」

とにかく可愛い

< 10月 加賀谷重雄 特別会員 >



1位 梅澤勇二
「顔にもうろこ」

笑顔がとても良い。背景もしっかり撮られている



2位 林 繁造
「星空とも仲良し」

横たわるしっとりとした天の川が2本の樹によくマッチしている

< 11月 山本純一 特別講師 >



1位 梅澤勇二
「命尽き果てる」

広角を使い主役をはっきりとさせている



2位 今 明美
「足元の晩秋」

被写体を見つける力がある。主役と脇役があって主張がはっきりしていて構図も良い

< 12月 岸本日出雄 特別講師 >



1位 見野則幸
「雅の舞」

全体を黒で締め、白飛び無く構成の良く上品でエレガント



2位 浦崎毅子
「晩秋の輝き」

1枚の赤いもみじと枝についた水滴が背景の黒に輝いて映え美しい

< 1月 香取征子 特別会員 >



1位 林 繁造
「暁の競演」

色合いが難しい夜明け前の風景と天の川を良く捉えている



2位 浦崎毅子
「慈しむ」

オレンジ色の美しい風景の中で、タンチョウの親子を少し引いた画角で捉え、母の慈愛を感じる

令和3年 予定表 (6月以降)

月日	事業内容	会友作品披露他
6/18 (金)	例会 長谷川純一 特別講師 7F特別会議室	撮影会に向けた講話
7/4 (日)	モデル撮影会撮影会	コロナ感染を鑑みて延期(未定)
7/16 (金)	例会 加賀谷重雄 特別会員 7F特別会議室	会友作品 荻田 貞子
8/20 (金)	例会 経塚 剛敏 特別会員 7F特別会議室	会友作品 坂本 幸夫
9/17 (金)	例会 武藤 省吾 特別会員 7F特別会議室	講話
10/15 (金)	例会 山下 智 特別会員 7F特別会議室	会友作品 奈良美弥子
11/19 (金)	例会 山本 純一 特別講師 7F特別会議室	講話
12/17 (金)	例会 岸本日出雄 特別講師 7F特別会議室	講話
1/21 (金)	例会 香取 征子 特別会員 7F特別会議室	会友作品 原 禎子



会員拡大にご協力下さい。仲間を誘いましょう。希望者には道写協札幌支部のホームページをすすめてください。申込書もダウンロードできます。

入会歓迎

優れた作品を数多く見ることが出来るのがこの会の特徴です。月例会成績は道新札幌圏版に掲載され、知人友人からの反響が寄せられたりします。

